

平成20年度 建築基準整備促進補助金事業
21.基準整備に関するニーズ・シーズ把握に関する検討
調査報告

財団法人 建築行政情報センター

春原 匡利、平野 正利、村上 擭、木村 麗

はじめに

調査の目的

建築基準法の技術基準については、研究や技術開発の進展等に応じて、見直しを継続的に行う必要がある。そのため、民間からの建築基準改正提案の受付・整理、分析を行い、民間における基準改正ニーズ・シーズを把握することが目的である。

調査の概要

広く民間事業者等から建築基準に関する見直し提案を受け・整理し、日本建築行政会議及びその他建築関係団体から建築基準改定提案に関するヒアリング・アンケートを実施・整理した。

また、上記の調査を踏まえ、今後の基準見直しのための検討を併せて行った。

調査の項目

(イ) 基準改正提案の受付と整理

広く民間事業者等から建築基準法令上の技術基準（性能評価・試験方法等を含む）に関する技術的提案を受け、また、建築基準の見直し事項の整理を行う。

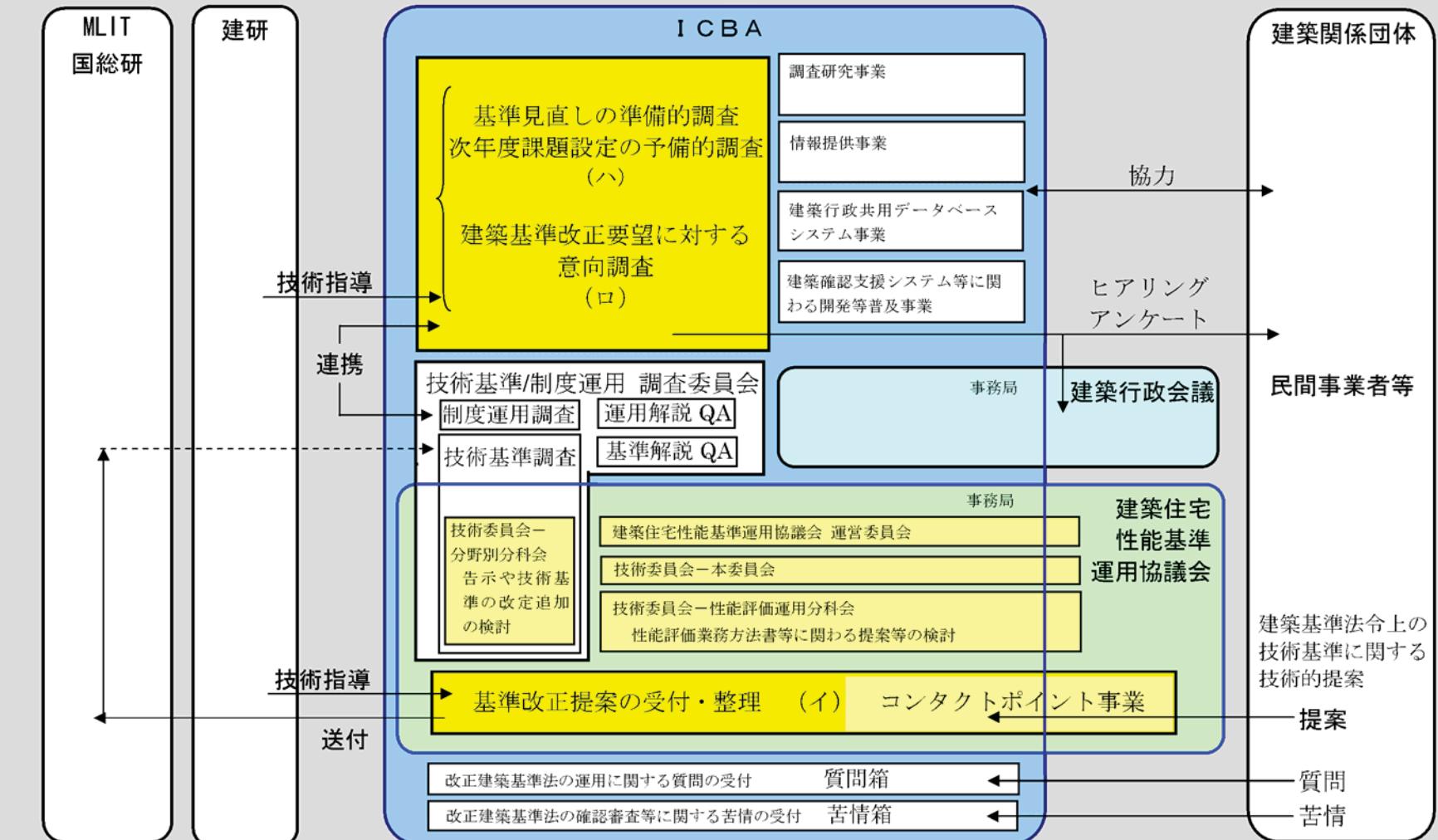
(ロ) 基準改正提案に対する関係団体への意向調査

建築行政会議及びその他建築関係団体から建築基準改定提案に関するヒアリング・アンケートを実施・整理する。

(ハ) その他

上記で収集した事項に係る今後の基準見直しのための準備的調査、次年度の本事業の課題設定に関する予備的調査を行う。建築基準法の技術基準については、研究や技術開発の進展等に応じて、見直しを継続的に行う必要がある。そのため、民間からの建築基準改正提案の受付・整理、分析を行い、民間における基準改正ニーズ・シーズを把握することが目的である。

調査フロー



調査工程

調査検討項目	工程(2008年～2009年)						備考
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
①	(イ) 基準改正提案の受付と整理 ・民間事業者等からの技術的提案の受付 ・提案の建築基準の見直し事項の整理	随時					コンタクトポイント事業を活用
		10/8				3/27	
	(ロ) 基準改正提案に対する関係団体への意向調査 ・建築行政会議その他建築関係団体の建築基準改定要望に関するヒアリング、アンケートの実施 ・ヒアリング結果、アンケート結果の整理	9/30			2/6		建築技術基準調査委員会・建築制度運用調査委員会と連携
		10/6			2/20		
②	(ハ) (イ)、(ロ)で収集した事項に係る基準見直しのための準備調査と次年度の課題設定に関する予備的調査	10/17				3/25	建築技術基準調査委員会・建築制度運用調査委員会を活用
	・システム構築及びデータ入力 ・調査報告書の作成			2/1	3/30	3/16-31	

基準改正提案の受付と整理等

調査の進め方

基準改正提案の受付と整理については、当財団で事務局を行なっている建築住宅性能基準運用協議会のコンタクトポイント事業を活用。

基準見直しのための準備的調査及び次年度の本事業の課題設定に関する予備的調査については、内容に応じて、建築技術基準調査委員会・建築制度運用調査委員会を活用。

基準改正提案の受付と整理等

調査対象・調査状況

2003年設立した建築住宅性能基準運用協議会に設けているコンタクトポイント（提案受付窓口）に、2009年3月までに寄せられた民間等の技術提案のうち、検討中の案件45件。

①構造（13件）

S造4件、木造5件、構造材料品質2件、その他2件

②防火（25件）

防耐火構造5件、防火材料1件、防火設備9件、区画貫通1件

耐火検証3件、避難安全検証6件

③環境設備（7件）

エレベーター2件、段差解消機4件、ホルムアルデヒド1件

構造は「建築技術基準調査委員会・建築制度運用調査委員会」を活用して検討を実施。

防耐火、環境設備は、建築住宅性能基準運用協議会TG定例会において提案内容に対する方針や検討状況の確認を継続的に実施。

基準改正提案の受付と整理等

提案項目

提案年月日	平成 年 月 日				
提案名					
提案者氏名等	提案者氏名	フリガナ			
		氏名			
	提案者連絡先	住所	〒		
		電話		FAX	
		E-Mail			
	提案者所属	名称			
		住所	〒		
		電話		FAX	
E-Mail					
関連法規等	法律名称				
	関係条文・告示等				
提案内容					
提案に係わる技術的根拠の主旨					
その他、補足説明、提案の非公表に関する希望等					

基準改正提案に対する関係団体への意向調査

調査の進め方

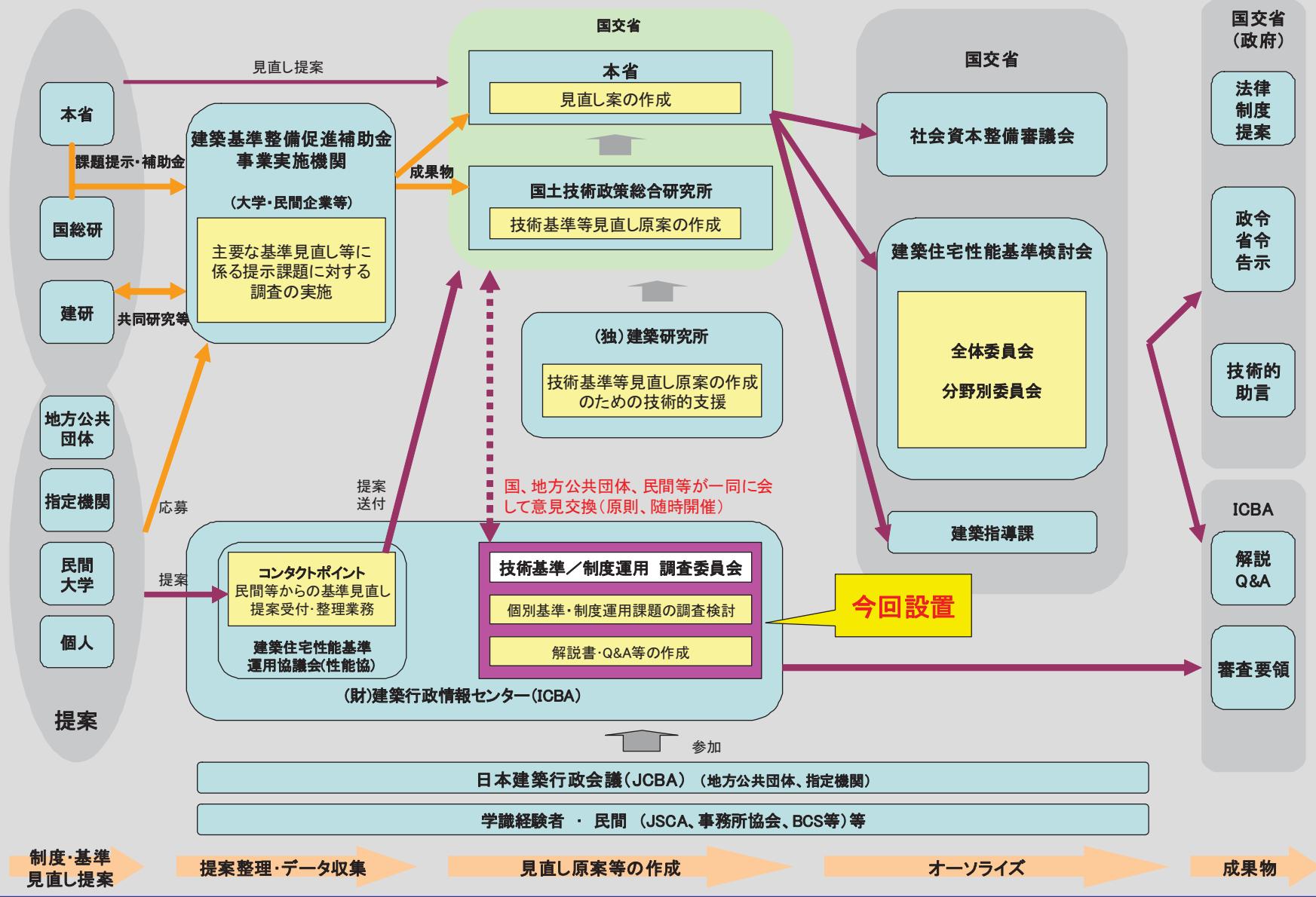
基準改正提案に対する関係団体への意向調査については、2008年9月30日にICBAに設置された建築技術基準調査委員会・建築制度運用調査委員会を活用。

委員会開催に合わせ、内容に応じ、以下の団体にアンケートを実施。

社団法人構造技術者協会、日本建築士事務所協会連合会、社団法人建築業協会、日本建築行政会議（構造部会・適判部会）、建築住宅性能基準運用協議会、社団法人日本ツーバイフォー協会、社団法人日本木造住宅産業協会、社団法人プレハブ建築協会

基準見直しのための準備的調査及び次年度の本事業の課題設定に関する予備的調査については、建築技術基準調査委員会・建築制度運用調査委員会の場を活用。

建築基準・制度運用検討体制



ICBA

Information Center for Building Administration

建築基準・制度運用検討体制（運営イメージ）

	課題の調査・見直し案の検討	解説・Q & Aの作成																							
建築技術基準 調査委員会	<p style="text-align: center;"><必要に応じ開催></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;"> 構造基準調査WG ★ <当面、2回／年程度開催> </td><td style="width: 50%;"> 分野別SWG 木造SWG S造SWG ★ RC造SWG ★ 基礎地盤SWG ★ 荷重外力SWG </td><td style="width: 50%;"> 個別課題SWG 免震構造SWG 構造材料品質SWG ★ 限界耐力計算SWG 非構造部材SWG など </td></tr> </table> <p style="text-align: center;">防火基準調査WG</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">防耐火構造SWG</td><td style="width: 50%;">個別課題SWG</td></tr> <tr> <td style="width: 50%;">避難SWG</td><td style="width: 50%;"></td></tr> </table> <p style="text-align: center;">環境設備基準調査WG</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;"></td><td style="width: 50%;">個別課題SWG</td></tr> </table> <p style="text-align: center;">材料耐久性基準調査WG</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;"></td><td style="width: 50%;">個別課題SWG</td></tr> </table> <p style="text-align: center;">建築計画基準調査WG</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;"></td><td style="width: 50%;">個別課題SWG</td></tr> </table>	構造基準調査WG ★ <当面、2回／年程度開催>	分野別SWG 木造SWG S造SWG ★ RC造SWG ★ 基礎地盤SWG ★ 荷重外力SWG	個別課題SWG 免震構造SWG 構造材料品質SWG ★ 限界耐力計算SWG 非構造部材SWG など	防耐火構造SWG	個別課題SWG	避難SWG			個別課題SWG		個別課題SWG		個別課題SWG	<p style="text-align: center;"><必要に応じ開催></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;"> 構造基準解説 作成WG ★ Q & A作成 SWG ★ </td><td style="width: 50%;"></td></tr> </table> <p style="text-align: center;"><6回 + α / 年程度 開催></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">防火基準解説 作成WG</td><td style="width: 50%;">Q & A作成 SWG</td></tr> <tr> <td style="width: 50%;">基準解説作成</td><td style="width: 50%;">Q & A作成</td></tr> <tr> <td style="width: 50%;">基準解説作成</td><td style="width: 50%;">Q & A作成</td></tr> <tr> <td style="width: 50%;">基準解説作成</td><td style="width: 50%;">Q & A作成</td></tr> </table>	構造基準解説 作成WG ★ Q & A作成 SWG ★		防火基準解説 作成WG	Q & A作成 SWG	基準解説作成	Q & A作成	基準解説作成	Q & A作成	基準解説作成	Q & A作成
構造基準調査WG ★ <当面、2回／年程度開催>	分野別SWG 木造SWG S造SWG ★ RC造SWG ★ 基礎地盤SWG ★ 荷重外力SWG	個別課題SWG 免震構造SWG 構造材料品質SWG ★ 限界耐力計算SWG 非構造部材SWG など																							
防耐火構造SWG	個別課題SWG																								
避難SWG																									
	個別課題SWG																								
	個別課題SWG																								
	個別課題SWG																								
構造基準解説 作成WG ★ Q & A作成 SWG ★																									
防火基準解説 作成WG	Q & A作成 SWG																								
基準解説作成	Q & A作成																								
基準解説作成	Q & A作成																								
基準解説作成	Q & A作成																								
建築制度運用 調査委員会	<p style="text-align: center;">基本問題調査WG ★ (課題の抽出等)</p> <p style="text-align: center;"><6回 + α / 年程度 開催></p> <p style="text-align: center;">個別課題SWG (課題の調査)</p> <p style="text-align: center;"><必要に応じ開催></p>	<p style="text-align: center;">確認検査指針等 解説作成WG ★</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">Q & A作成 SWG ★</td><td style="width: 50%;"></td></tr> </table> <p style="text-align: center;"><6回 + α / 年程度 開催></p>	Q & A作成 SWG ★																						
Q & A作成 SWG ★																									

★は、当面開催を想定しているWG等

基準改正提案に対する関係団体への意向調査

調査対象

建築技術基準調査委員会は、構造・防火・環境設備・材料耐久性・建築計画と、内容に応じたWGが設置された。

本年度は、平成17年11月の構造計算書偽装問題を受け、平成19年6月に建築確認・検査の厳格化等を目的とした改正建築基準法の施行に対する、建築確認手続きの円滑化に向けた取り組みとして、構造分野のWGに重点がおかれた。

本調査においても、こうした動向は、社会のニーズと受け捉え、構造に関する内容を対象に実施した。

基準改正提案に対する関係団体への意向調査

調査状況【建築技術基準】

A. 告示改正等に結びつく提案に対する調査検討

募集により提出された提案事項のうち、告示改正等に結びつくような、建築基準法に基づく構造関係技術基準原案の策定等に関する内容の92件については、分野別のSWGに振り分け、審議・協議され、本調査に対して、合理的に行なった。

- ①S造（20件）
- ②RC造（35件）
- ③木造（7件）
- ④構造材料品質（法第37条）（14件）
- ⑤基礎地盤（1件）
- ⑥免震（1件）
- ⑦上記他基準調査（14件）

基準改正提案に対する関係団体への意向調査

調査状況【建築技術基準】

B. 法令解説書あるいは質疑応答形式にて対応する提案

募集により提出された提案事項のうち、解説書にて対応する内容のもの、あるいは、質疑応答形式にて対応する内容の107件については、構造基準解説作成WG、あるいは、Q & A作成SWGに振り分け、審議・協議され、本調査に対して、合理的に行なった。

①解説書作成内容（25件）

共通事項 7件、S造 8件、RC造 9件、基礎地盤 1件

②建築物の構造関係技術基準解説書推奨事項に対する内容（67件）

共通事項11件、S造 10件、RC造 33件、SRC造 1件、

併用構造 1件、構造材料品質 1件、基礎地盤 8件、荷重外力 2件

③Q & A作成内容（15件）

共通事項 5件、S造 5件、RC造 4件、基礎地盤 1件

基準改正提案に対する関係団体への意向調査

調査状況【建築技術基準】

C. その他構造に関する提案内容

前記A. B. で対応せず、別途対応を予定している（建築基準整備促進補助金事業等）構造に関する提案内容として分類した9件。

基準改正提案に対する関係団体への意向調査

調査状況【制度運用】

A. 基本問題に関する提案に対する調査検討

募集により提出された提案事項のうち、建築基準法に基づく確認・検査等の制度運用等に係る基本問題に関する内容の33件について、内容に応じて、SWGを設置して協議され、本調査に対して、合理的に行なった。

- ①基本問題（29件）
- ②大臣認定構造計算プログラム（4件）

基準改正提案に対する関係団体への意向調査

アンケートの項目

内容：構造全般、S造、RC造、木造、構造材料品質、基本問題

団体名 :

担当者名 :

E-Mail

担当者連絡先： TEL

FAX

提案名 :

関係条文・告示等 :

提案内容 :

提案に係る技術的根拠の趣旨等 :

基準改正提案に対する関係団体への意向調査

アンケートの項目

内容：解説作成（推奨事項）

団体名 : _____

担当者名 : _____ E-Mail : _____

担当者連絡先 : TEL : _____ FAX : _____

提案名 :

対象部分（2007年版「建築物の構造関係技術基準解説書」のページ及び行） :

_____ ページ _____ ~ _____ 行目

関係条文・告示等 :

問題点 :

提案内容 :

提案に係る技術的根拠・趣旨等 :

調査により収集した事項の一元管理

システム構築とデータ入力

以上の調査により収集した、300件程の提案事項について、提案内容の整理及び類似の内容の検索、法令・構造種別等・キーワードによる統一的な検索を行うことにより、当該事業の目的である基準改正提案等の整理、検討を効率的に実施するため、システムを構築し、収集した提案内容のデータ入力を行なった。

関連情報として、当財団で実施している民間から受け付けている質問箱の約1300件、苦情箱の約800件、電話相談の約5500件についても、横断的に集約するため、あわせてデータ入力を行なった。

ことにより、様々な立場からの提案等を総合的な調査が今後可能となる。

建築基準整備に関するニーズ・シーズ把握システム

新規登録画面

建築基準整備に関するニーズ・シーズ把握システム - Windows Internet Explorer
http://www.icba-info.jp/kijyunseibi/html/inquiry/enter.php

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)
Google ICBA 検索 ブックマーク ブロック数: 23 チェック 翻訳 次に送信 設定
ICBA ページ(P) ツール(Q)

建築基準整備に関するニーズ・シーズ把握システム ホーム ログアウト

機関名: 建築行政情報センター お名前: 木村 麻

ホーム > 提案等 > 新規登録

提案等新規登録

*印は、必須項目となりますので、必ず入力してください。

元データ分類	未指定
元番号	<input type="text"/>
質問・問題提示日	<input type="text"/>
回答予定日	<input type="text"/>
回答日	<input type="text"/>
公開日	<input type="text"/>
会社名 機関名/団体名	<input type="text"/>
名前	<input type="text"/>
住所	<input type="text"/>
電話番号	<input type="text"/>
FAX番号	<input type="text"/>
E-mail	<input type="text"/>
業種	<input type="text"/>

インターネット 100%

建築基準整備に関するニーズ・シーズ把握システム

検索画面

The screenshot shows the search interface for the 'Needs and Opportunities Acquisition System'. The URL in the address bar is <http://www.icba-info.jp/kijyunseibi/html/inquiry/search.php>. The browser window includes standard navigation buttons, a search bar, and a toolbar with icons for Google, ICBA, and other functions.

The main page title is '建築基準整備に関するニーズ・シーズ把握システム' (Needs and Opportunities Acquisition System). The top right has links for 'ホーム' (Home) and 'ログアウト' (Logout). The left sidebar contains a navigation menu with categories like '提案等' (Proposals), 'アカウント管理' (Account Management), 'マスターデータ管理' (Master Data Management), and 'その他' (Others). The '提案等' category is currently selected and highlighted in green.

The central search form is titled '提案等検索' (Proposal Search). It features a search input field with placeholder text '下記に検索条件を入力してください。' (Please enter search conditions below.) and a '検索' (Search) button. The search form is divided into several sections:

- キーワード:** A dropdown menu set to '全て' (All) with a note: '複数キーワードの場合にはスペースで区切って入力してください。' (When entering multiple keywords, separate them with spaces).
- 元データ分類:** A list of checkboxes for categories like 'コンタクトポイント', '団体提案事項', 'BCJ質問', etc.
- 識別ID:** Input fields for 'ID' and '～'.
- 元番号:** Input fields for '番号' and '～'.
- 分野:** A list of checkboxes for fields like '構造', '防火', '環境設備', etc.
- 内容:** A list of checkboxes for tasks like '課題の調査・見直し案の検討', '解説・Q&Aの作成', etc.
- 構造種別:** A list of checkboxes for structural types like '木造(W)', '鉄骨造(S)', '鉄筋コンクリート造(RC)', etc.
- 委員会用分類:** A dropdown menu set to '未指定' (Unspecified) with a checkbox '配下の分類も含む' (Include sub-categories).
- 技術基準解説書:** A dropdown menu set to '未指定' (Unspecified) with a page range input field 'ページ～'.
- 日付:** Input fields for '日付' and '～' with a dropdown menu '質問・問題提示日'.
- 添付ファイル:** Radio buttons for '有' (Yes), '無' (No), and '全て' (All).

建築基準整備に関するニーズ・シーズ把握システム

検索結果画面

建築基準整備に関するニーズ・シーズ把握システム - Windows Internet Explorer
http://www.icba-info.jp/kijyunseibi/html/inquiry/search.php?keyword=&keyword1=&motodata%5B%5D=2&id=&id1=&moto_id=&moto

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)
Google 検索 ブックマーク ブロック数: 23 チェック ライブ翻訳 次に送信
ICBA ページ(P) ツール(O)

< 20件中1~20件目を、識別IDの昇順で表示しています。> エクスポート

検索結果番号	1
識別ID	13415
元データ分類	団体提案事項
質問・問題提示日	2008-12-01
会社名 機関名 団体名	(社)日本建築構造技術者協会
分野	構造
内容	課題の調査・見直し案の検討
構造種別等	鉄骨造(S)
委員会用分類	S造SWG
関連する法	
関連する施行令	令92条
関連する施行規則	
関連する機関省令	
関連する告示	
関連するその他の法令等	
タイトル	(1)溶接維ぎ目の許容応力度
質問・問題内容	部分溶込み溶接部の許容応力度を突合せ溶接部のそれと同等とする。
申請者回答案・解決提案	
申請者回答案・解決提案に係る技術的根拠	部分溶込み溶接部に對し偏心した作用力がなければ、突合せ溶接部の許容応力度を採用して問題ないことは周知の通りである。(例えば、丸鋼の表面からある深さで溶接するとか、閉鎖対象断面の板厚の一部を溶接する場合など)
添付ファイル(複数あり)	
関係者回答案	

まとめ

本事業は、建築住宅性能基準運用協議会のコンタクトポイント及び、建築技術基準調査委員会・建築制度運用調査委員会を活用し、合理的に実施した。

建築住宅性能基準運用協議会は、2009年3月12日に一般社団法人建築住宅性能基準推進協会として新たに発足し、これに伴い、コンタクトポイント事業は、財団法人建築行政情報センターの事業として実施している。

また、2008年に当財団に設置された建築技術基準調査委員会・建築制度運用調査委員会は、予め想定されたWG・SWGの他に、課題に即した検討を集中的に行うためのTGを適宜設置するなどして、機動性を持って対応している。既に2009年度の予定も調整され、継続的に実施する体制が整っている。

以上より、今回調査し整理した内容については、今年度構築してきた体制を活かし、次年度以降も継続的に実施することが、基準見直しに向け合理的であると考えられる。

今後の事業イメージ

今回調査し整理した内容の多くは、建築確認手続きの円滑化に向けた取り組みに基づく内容のものが大半を占めた。円滑化は、社会の大きなニーズと受け捉えられる。

一方、本事業募集に当たり開催された建築基準整備促進補助金事業説明会において、当該テーマ「21.基準整備に関するニーズ・シーズ把握に関する検討」の他2テーマ「19.建築物の性能の表示に関する検討」「20.建築の質の向上に関する検討」は、他の18課題の 現在の建築基準法の体系の中での整備に関するテーマ と異なり、 今後の基準の発展に資するテーマとの説明がなされたことを踏まえると、今後は、今回の内容に留まることなく視点を広げ、引き続き建築研究所の技術指導を得て実施していきたい。